

「女性の視点を考慮した 地域防災活動」

増戸地区防災・安心地域委員会女性部

女性部の発足経緯

- ・ 日常生活圏での生活時間が比較的長い。
- ・ 家族や地域の絆の結び目として、様々な災害対応における中心となる。
- ・ これまでの防災活動、取組は男性中心にまとめられ活動しており、女性の視点が欠けていた。
- ・ 多くの女性の参画の推進。
- ・ 防災啓発や防災活動に女性の声を反映。
- ・ 男女一体となった防災の取組。

女性部の組織

- ・ 増戸地区防災・安心地域委員会の下部組織とし、地域委員会の活動に積極的に参画する。
- ・ 各自主防災組織(自治会)～1名以上の参画を推進し、地域委員会担当委員と合わせて最大30～40人程度をもつて組織する。

女性部員

- ・ 女性部員は各自主防災組織(自治会)及び部員からの推薦者及び公募者とする。

役員

- ・ 部員の中から部長、副部長を選出し、地域委員会担当委員と共に部の運営にあたる。
- ・ 役員の実出は合議制とする。
- ・ 部長、副部長は地域委員会委員として、委員会活動に参画する。

任期

- ・ 任期は部員、役員共に3年とし再任できる。再任にあたっては、対象者に再任の意思確認を行う。

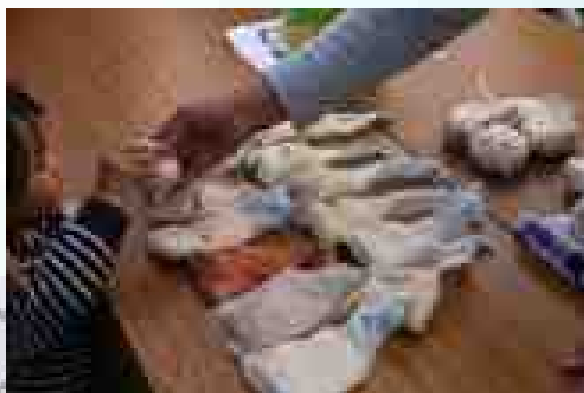
女性部の活動内容

- ・ 防災知識、技能の習得
- ・ 地域への防災の必要性、知識、技能の啓発、指導
- ・ 地域委員会の取組総括(見直す必要項目の提言)
- ・ あきる野市防災リーダー認定の取得

防災訓練時の炊き出し



秋留台公園 あそび屋台市



防災カルタ



女性のための防災のつどい ファインプラザ



女性の集いを受けた日常備蓄食品による炊出し訓練



産業際での活動



救急救命活動



むすびに

私たち女性部は、これからも、何時発生するか分からない首都直下地震等に備え、女性にできるハード面は基より、災害弱者であるお年寄りや子育て中の母親等に寄り添った「女性に出来る備え」について学び、災害に備えます。

また、避難所でのお年寄りや子供、母親等に寄り添い心の支えとなるようなケア等についても習得していきたいと考えています。

増戸地区防災・安心地域委員会

女性部

・これからも、増戸地区防災・安心地域委員や各自治会の自主防災会と手を取り合いながら「**自分の命は自分で守る**」「**自分たちの命は自分たちで守る**」という原点に立った女性部の活動に取り組んでいきます。

ご静聴ありがとうございました。